



くすりと健康

一般社団法人
神戸市薬剤師会

お薬手帳

お薬手帳は、患者さん個人の薬の履歴や既往歴、副作用歴、アレルギー歴などが記載された手帳です。ギー歴などが記載された手帳です。医療機関を受診した時にお薬手帳を提示することで、医療関係者がお薬手帳に記載されている他の医療機関での併用薬や副作用歴等を確認し、副作用発生の防止や薬の飲み合わせが悪くないかの確認などに役立てています。そのため、使用しているすべての薬の記録が一冊にまとまって見られるようになっていないと、お薬手帳の機能を十分に發揮できないので、使用中のお薬手帳を複数持っている方は、かかりつけ薬局などで一冊にまとめてもらうよう依頼することをお勧めします。

がいつばいになって、新しいお薬手帳をもらった際に、それらの記載事項も書き写す必要がありますが、神戸市消防局が作成している「安心カード」などのカードに既往歴などを記載しておき、お薬手帳に挟んでおけば、お薬手帳が新しくなっても、そのカードを挟み変えるだけでよいので、薬に管理ができます。安心カードは消防署で配布していますので、興味のある方は消防署にお尋ねください。

お薬手帳は患者さん自身が自由に書き込むことができるので、体調変化や医師、薬剤師への質問などを記入しておくこと次回受診時の役に立ちます。また、何気ない出来事でも副作用の前兆の可能性もあるので、積極的に体調変化などを記入しておくことよいでしょう。また、薬局などで購入した市販薬やサプリメントなどを服用している場合はその情報も記載していることよいでしょう。

最近では、電子媒体を利用したお薬手帳も徐々に広がっています。

電子お薬手帳と呼ばれており、スマートフォンにお薬手帳の情報を取り込んだり、ICカードなどをキーとして用いて、携帯電話やタブレット、パソコンなどにお薬手帳の持っている機能を表示させることができます。いろいろな機種があり、その持っている機能もさまざまで、家族全員分のお薬手帳がみられる機能や遠方で暮らしている家族のお薬手帳の情報を自宅にいながら確認できる機能を持った電子お薬手帳もあります。

お薬手帳は、ご自身の安全を守る大切なツールのひとつです。医療機関を受診する際は、必ずお薬手帳を持参して、毎回お薬の記録をつけてもらうようにしましょう。

(北区) 薬局エビラファーマシー

松本博志

